



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 小糸製作所

コード番号 7276 URL <http://www.koito.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大嶽 昌宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 山本 英男

TEL 03-3443-7111

四半期報告書提出予定日 平成27年2月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	501,965	18.7	42,462	43.5	45,150	43.8	26,233	140.1
26年3月期第3四半期	422,970	24.4	29,599	18.5	31,393	22.5	10,924	△11.0

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 55,040百万円 (78.1%) 26年3月期第3四半期 30,908百万円 (44.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	163.25	—
26年3月期第3四半期	67.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	547,929	303,110	46.9	1,600.45
26年3月期	483,093	256,072	45.5	1,368.72

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 257,183百万円 26年3月期 219,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00
27年3月期	—	14.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	695,000	16.3	62,000	25.2	65,000	25.3	37,000	73.1	230.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	160,789,436 株	26年3月期	160,789,436 株
27年3月期3Q	95,403 株	26年3月期	95,079 株
27年3月期3Q	160,694,252 株	26年3月期3Q	160,696,543 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続を実施中です。

(参考) 平成27年3月期の個別業績予想 (平成26年4月1日 ~ 平成27年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	250,000	1.9	20,000	10.6	33,000	10.5	23,000	72.1	143	13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済情勢は、消費増税による個人消費の落ち込みや、円安による輸入コスト上昇等の影響もあり、景気は低調に推移いたしました。世界においては、中国の景気減速や中東・ウクライナ問題等の地政学的リスクなどがあるものの、米国の景気回復、欧州経済の持ち直しなどにより、堅調に推移いたしました。

自動車産業におきましては、国内は、前半が消費増税前駆け込み需要の受注残対応などにより増産、後半は販売不振等に伴い減産と、国内向けが横這いのなか、輸出向けが生産の海外移管等により減産となったことから、生産台数は前年同期比で減少いたしました。海外では、タイ等において減産となりましたが、北米・中国等での需要拡大により、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ増加いたしました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は、主力の自動車照明関連事業が増収となり、前年同期比18.7%増の5,019億円となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

〔日本〕

国内自動車生産が減少のなか、自動車ランプのLED化などにより、売上高は前年同期比1.2%増の1,984億円となりました。

〔北米〕

自動車需要の回復に伴う生産増加や、新規受注の拡大、LED化等に加え、メキシコ工場の稼働等もあり、売上高は前年同期比45.4%増の969億円となりました。

〔中国〕

自動車需要が増加するなか、日系・欧米系自動車メーカー向けの受注拡大等により、売上高は前年同期比24.0%増の1,317億円となりました。

〔アジア〕

タイにおける受注拡大、インドネシアでの二輪車・四輪車の受注拡大等により、売上高は前年同期比22.7%増の511億円となりました。

〔欧州〕

欧州経済の持ち直しに伴い域内自動車生産が堅調に推移するなか、新規受注の拡大、LED化等により、売上高は前年同期比94.6%増の236億円となりました。

利益につきましては、日本に加え、北米・中国・アジア・欧州全てのセグメントにおいて増収のなか、海外新工場の本格稼働が寄与したこともあり、営業利益は前年同期比43.5%増の424億円、経常利益は前年同期比43.8%増の451億円となりました。四半期純利益につきましても増収効果に加え、前期に独占禁止法関連の特別損失を計上した影響等により、前年同期比140.1%増の262億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

ー 1. 資産、負債、純資産に関する分析

当第3四半期末の資産の残高は、現金及び預金の増等により流動資産が増加したことに加え、海外生産増強に伴う設備投資等もあり、前期末に比べ648億円増加の5,479億円となりました。

負債の残高は、支払手形及び買掛金の増、借入金や未払費用の増等により、前期末に比べ177億円増加の2,448億円となりました。

純資産の残高は、四半期純利益により利益剰余金が増加したことに加え、その他の包括利益累計額の増加もあり、前期末に比べ470億円増加の3,031億円となりました。

ー 2. キャッシュ・フローに関する分析

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益460億円、減価償却費181億円を主体に616億円となり、法人税等を支払った結果、466億円の資金を確保いたしました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資331億円等を実施した結果、384億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金等の支払い77億円などを実施した結果、89億円の支出となりました。

以上により、現金及び現金同等物の第3四半期末残高は、前期末に比べ11億円増加の289億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期通期の業績予想につきましては、売上高は、国内では自動車生産台数が減少するなか、自動車ランプのLED化などにより増収、海外では米国・中国を主体に自動車増産と新規受注の増加等から前期比増収の予想であります。

利益につきましては、増収効果に加え、海外新工場の本格稼働、生産性向上等もあり、各利益ともに前期比増益の見通しであります。

なお、平成26年10月28日の第2四半期決算短信にて公表いたしました平成27年3月期通期の業績予想（連結・個別）は以下の通り修正しております。

平成27年3月期 通期(平成26年4月1日～平成27年3月31日) 連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想(A)	684,000	59,000	61,500	35,000	217	81
今回予想(B)	695,000	62,000	65,000	37,000	230	25
増減額(B-A)	11,000	3,000	3,500	2,000	—	—
増減率(%)	1.6	5.1	5.7	5.7	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	597,502	49,506	51,895	21,378	133	04

(参考) 平成27年3月期 通期 個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想(A)	249,000	18,500	31,500	22,000	136	91
今回予想(B)	250,000	20,000	33,000	23,000	143	13
増減額(B-A)	1,000	1,500	1,500	1,000	—	—
増減率(%)	0.4	8.1	4.8	4.5	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	245,412	18,085	29,857	13,364	83	17

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務等の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更すると共に、割引率の決定方法を変更しております。

この変更に伴い期首の退職給付に係る負債が1,203百万円増加し、利益剰余金が735百万円減少しております。なお、損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	95,018	108,584
受取手形及び売掛金	105,236	101,272
電子記録債権	6,236	7,108
有価証券	1,847	1,817
たな卸資産	52,046	65,256
未収入金	16,255	15,578
繰延税金資産	3,565	4,247
その他	26,774	37,108
貸倒引当金	△13,103	△14,447
流動資産合計	293,878	326,527
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	34,262	41,748
機械装置及び運搬具(純額)	39,649	54,070
工具、器具及び備品(純額)	13,257	18,725
土地	13,821	14,261
建設仮勘定	13,089	11,077
有形固定資産合計	114,080	139,883
無形固定資産		
のれん	—	1,080
その他	1,039	1,662
無形固定資産合計	1,039	2,742
投資その他の資産		
投資有価証券	71,695	77,395
長期貸付金	29	16
繰延税金資産	1,000	105
その他	1,520	1,412
貸倒引当金	△152	△152
投資その他の資産合計	74,093	78,776
固定資産合計	189,214	221,402
資産合計	483,093	547,929

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	105,326	115,846
短期借入金	38,269	42,133
未払費用	17,969	19,520
未払法人税等	8,506	6,429
賞与引当金	4,546	4,214
製品保証引当金	2,151	2,101
その他	8,558	12,274
流動負債合計	185,328	202,519
固定負債		
長期借入金	5,241	4,603
繰延税金負債	582	2,795
退職給付に係る負債	26,141	25,639
役員退職慰労引当金	353	359
損害賠償引当金	2,589	1,596
製品保証引当金	4,841	4,880
環境対策引当金	246	232
その他	1,694	2,192
固定負債合計	41,692	42,299
負債合計	227,020	244,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,270	14,270
資本剰余金	17,108	17,108
利益剰余金	158,109	179,108
自己株式	△84	△85
株主資本合計	189,404	210,402
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,532	25,063
為替換算調整勘定	8,665	19,621
退職給付に係る調整累計額	3,343	2,096
その他の包括利益累計額合計	30,541	46,781
少数株主持分	36,127	45,926
純資産合計	256,072	303,110
負債純資産合計	483,093	547,929

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
売上高	422,970	501,965
売上原価	360,467	425,631
売上総利益	62,503	76,334
販売費及び一般管理費	32,903	33,871
営業利益	29,599	42,462
営業外収益		
受取利息	1,109	1,231
受取配当金	753	984
持分法による投資利益	6	12
為替差益	130	350
その他	858	1,238
営業外収益合計	2,858	3,817
営業外費用		
支払利息	588	665
航空事業安全対策費	381	234
その他	94	229
営業外費用合計	1,064	1,130
経常利益	31,393	45,150
特別利益		
退職給付制度終了益	—	936
投資有価証券売却益	985	423
固定資産売却益	10	18
その他	5	1
特別利益合計	1,001	1,380
特別損失		
固定資産除売却損	260	503
独禁法関連損失	5,965	—
たな卸資産廃棄損	11	—
その他	7	6
特別損失合計	6,244	509
税金等調整前四半期純利益	26,150	46,020
法人税、住民税及び事業税	10,428	13,205
法人税等調整額	137	△704
法人税等合計	10,566	12,501
少数株主損益調整前四半期純利益	15,583	33,519
少数株主利益	4,659	7,285
四半期純利益	10,924	26,233

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主利益	4,659	7,285
少数株主損益調整前四半期純利益	15,583	33,519
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,398	6,876
為替換算調整勘定	7,925	15,543
退職給付に係る調整額	—	△899
その他の包括利益合計	15,324	21,521
四半期包括利益	30,908	55,040
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,905	42,473
少数株主に係る四半期包括利益	7,002	12,567

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	26,150	46,020
減価償却費	15,789	18,157
持分法による投資損益(△は益)	△6	△12
貸倒引当金の増減額(△は減少)	139	1,098
退職給付引当金の増減額(△は減少)	731	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	△2,168
賞与引当金の増減額(△は減少)	△250	△334
製品保証引当金の増減額(△は減少)	-	△12
受取利息及び受取配当金	△1,863	△2,215
支払利息	588	665
退職給付制度終了益	-	△936
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△983	△429
有形固定資産売却損益(△は益)	249	392
独禁法関連損失	5,965	-
売上債権の増減額(△は増加)	6,349	12,952
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,931	△8,672
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△9,393	△6,639
仕入債務の増減額(△は減少)	11,606	1,446
未払費用の増減額(△は減少)	1,777	△126
その他	1,295	2,445
小計	47,212	61,632
利息及び配当金の受取額	1,863	2,215
利息の支払額	△588	△665
損害賠償金の支払額	△3,861	△993
課徴金の支払額	△3,428	-
法人税等の支払額	△13,867	△15,581
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,331	46,608
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△52,025	△50,872
定期預金の払戻による収入	38,331	39,245
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△13	△14
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	9,211	5,815
有形固定資産の取得による支出	△25,360	△33,155
有形固定資産の売却・除却による収支(△は支出)	58	298
貸付けによる支出	△6	△7
貸付金の回収による収入	35	23
その他	1,246	258
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,523	△38,409

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	11,236	△239
長期借入れによる収入	1,396	212
長期借入金の返済による支出	△740	△1,206
自己株式の取得による支出	△6	△0
少数株主からの払込みによる収入	888	-
親会社による配当金の支払額	△3,716	△4,265
少数株主への配当金の支払額	△2,955	△3,462
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,103	△8,960
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,243	1,950
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,154	1,189
現金及び現金同等物の期首残高	21,992	27,750
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,146	28,939

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	196,224	66,660	106,261	41,697	12,126	422,970	—	422,970
セグメント間の内部売上高 又は振替高	87,876	—	3,263	3,486	13,023	107,649	(107,649)	—
計	284,101	66,660	109,524	45,183	25,150	530,620	(107,649)	422,970
セグメント利益又は損失(△)	18,670	922	5,892	4,589	△175	29,900	(300)	29,599

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額△300百万円には、セグメント間取引消去2,770百万円及び配賦不能営業費用△3,071百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次の通りであります。

(1) 北米 …米国、メキシコ

(2) アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド

(3) 欧州 …ベルギー、英国、チェコ

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	198,486	96,930	131,770	51,176	23,600	501,965	—	501,965
セグメント間の内部売上高 又は振替高	94,669	167	2,815	4,304	22,585	124,542	(124,542)	—
計	293,155	97,097	134,586	55,481	46,186	626,508	(124,542)	501,965
セグメント利益	21,989	4,387	9,351	5,565	1,627	42,921	(459)	42,462

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額△459百万円には、セグメント間取引消去2,931百万円及び配賦不能営業費用△3,390百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次の通りであります。

(1) 北米 …米国、メキシコ

(2) アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド

(3) 欧州 …ベルギー、英国、チェコ

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとののれん等に関する情報

平成26年12月に当社は、連結子会社であるインディアジャパンライティングプライベートリミテッドの増資を引き受けました。

当該事象によるのれんの増加額1,080百万円は、「日本」セグメントに含まれております。